

2018年度 決算概要

2019年5月13日
デンカ株式会社

1.業績の概要

【総括(前年同期比)】

- ・当社グループは、企業理念“The Denka Value”を実現すべく、2018年度より5か年の新経営計画「Denka Value-Up」をスタートいたしました。そして、「Denka Value-Up」の3つの成長ビジョン「スペシャリティの融合体」「持続的成長」「健全な成長」にもとづき、2つの成長戦略である「事業ポートフォリオの変革」と「革新的プロセスの導入」を推進し、業容の拡大と収益の確保に注力いたしました。
- ・この結果、当期の業績は、原材料価格の上昇に応じた販売価格の改定や、電子・先端プロダクツ製品を中心とした販売数量の増加により、売上高は4,131億円と、前年比175億円(4.4%)の増収となり、過去最高を更新しました。
- ・利益面でもスチレンモノマーの定期修繕や、ヘルスケア分野などで将来に向けた先行投資による費用負担が増加しましたが、販売数量の増加と交易条件の改善等により、営業利益は342億円(前年比6億円増益、1.7%)、経常利益は328億円(前年比13億円増益、4.2%)親会社株主に帰属する当期純利益は250億円(前年比20億円増益、8.7%)となり、いずれも2期連続で過去最高益を更新しました。

【2018年度セグメント別状況】

- ・エラストマー・機能樹脂部門は、デンカシンガポール社のポリスチレン樹脂、MS樹脂の販売は好調に推移しましたが、スチレンモノマーの定修費用負担や、クロロプレナムが米国子会社の寒波の影響によるプラントトラブルで販売数量が減少したことなどから、減益となりました。
- ・インフラ・ソーシャルソリューション部門は、セメントの販売価格が正が遅れ、肥料は出荷が低迷しました。また一部製品では台風などの自然災害の影響を受け出荷減となりました。このため、農業・土木用途向けのコルゲート管や耐火物・鉄鋼用材料の販売は堅調に推移しましたが、セグメント全体では採算が悪化し、営業利益は赤字となりました。
- ・電子・先端プロダクツ部門は、電子部品・半導体搬送用部材の高機能フィルムや、LED用サイアロン蛍光体“アロンブライト”の販売が前年を下回りましたが、車両電動化分野を中心に、電子回路基板、高信頼性放熱プレート“アルシンク”および高純度導電性カーボンブラックの販売数量は増加し、放熱材料向け球状アルミナの販売も好調に推移したことから、増益となりました。
- ・生活・環境プロダクツ部門は、プラスチック雨どいや工業用テープの販売が増加、食品包材用シートやデンカポリマー株式会社の加工品の販売も堅調に推移し、また合繊かつら用原糸“トヨカロン”の販売は前年並みとなりました。その一方、耐候性フッ素系アロイフィルム“DXフィルム”の出荷は昨年を下回りましたが、利益面では、遅れていた原燃料価格の上昇に対する価格改定が進んだことなどから、増益となりました。
- ・ライフイノベーション部門は、デンカ生研株式会社の検査試薬が国内、輸出とも販売数量が増加し、インフルエンザワクチンの出荷も前年を上回ったことから、研究費等の先行投資の負担増がありましたが、増益となりました。

【2019年度予想】

- ・2019年度は、2年目となる「Denka Value-Up」の成長戦略に沿った取り組み実施に伴い、研究費などの先行投資や固定費負担が増加しますが、スチレンモノマーの非定修年であることや、引き続き車両電動化用途を中心とした電子・先端プロダクツ製品の販売数量の伸長が期待できることなどから、営業利益380億円、経常利益360億円、親会社株主に帰属する当期純利益270億円の予想とし、いずれも3期連続の最高益を目指します。

【業績】

(単位:億円)

	2018年度 通期実績 (4-3月)	2017年度 通期実績 (4-3月)	増 減
売上高	4,131	3,956	175
営業利益	342	337	6
経常利益	328	315	13
親会社株主に帰属する当期純利益	250	230	20

2019年度 第2四半期予想 (4-9月)	2019年度 通期予想 (4-3月)
1,950	4,150
150	380
140	360
105	270

2.セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位:億円)

	2018年度 通期実績	2017年度 通期実績	増 減	
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	1,792	1,701	91
	営業利益	142	154	△ 12
インフラ・ソーシャル ソリューション	売上高	548	531	17
	営業利益	△ 3	2	△ 5
電子・先端 プロダクツ	売上高	671	626	45
	営業利益	118	109	9
生活・環境 プロダクツ	売上高	390	410	△ 19
	営業利益	9	8	1
ライフ イノベーション	売上高	341	323	18
	営業利益	63	55	8
その他 消去差	売上高	388	364	24
	営業利益	13	8	6
合 計	売上高	4,131	3,956	175
	営業利益	342	337	6

2019年度 第2四半期予想	2019年度 通期予想
810	1,650
80	155
280	580
5	10
340	740
50	130
200	400
5	10
130	360
5	65
190	420
5	10
1,950	4,150
150	380

3. 参考数値・前提

(単位:億円)

		2018年度 通期実績	2017年度 通期実績	増 減
投 資	設備投資	327	227	100
	M & A 他	1	43	△ 42
	計	328	270	58
減価償却費		229	246	△ 17
研究開発費		146	139	7
有利子負債残高		1,121	1,083	38

2019年度 第2四半期予想	2019年度 通期予想
220	450
未定	未定
220	450
115	240
80	170
1,220	1,200

	2018年度 通期実績	2017年度 通期実績
為替レート [円/\$]	110.7	111.3
国産ナフサ [円/kl]	49,500	42,200

2019年度 第2四半期予想	2019年度 通期予想
110.0	110.0
47,000	47,000

4. セグメント別 連結売上高増減内訳

(単位:億円)

	売 上 高				
	2018年度 通期実績	2017年度 通期実績	増 減	増 減	
				販売価格差	数量差
エラストマー・機能樹脂	1,792	1,701	91	107	△ 16
インフラ・ソーシャルソリューション	548	531	17	25	△ 8
電子・先端プロダクツ	671	626	45	5	40
生活・環境プロダクツ	390	410	△ 19	10	△ 30
ライフイノベーション	341	323	18	△ 5	22
そ の 他	388	364	24	-	24
合 計	4,131	3,956	175	142	33

5. セグメント別 連結営業利益増減内訳

(単位:億円)

	営 業 利 益					
	2018年度 通期実績	2017年度 通期実績	増 減	増 減		
				販売価格差	数量差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	142	154	△ 12	107	△ 1	△ 118
インフラ・ソーシャルソリューション	△ 3	2	△ 5	25	△ 2	△ 27
電子・先端プロダクツ	118	109	9	5	24	△ 19
生活・環境プロダクツ	9	8	1	10	△ 5	△ 4
ライフイノベーション	63	55	8	△ 5	14	△ 2
その他、消去差	13	8	6	-	4	2
合 計	342	337	6	142	34	△ 170